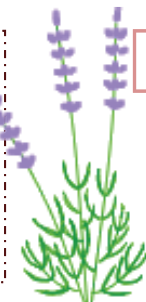




すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴
22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 Let's Activate Area AGRI

5月の援農は、1879時間(内24時間は無償研修)、援農参加者は54人、受け入れ農家は12軒でした。今年度累計は、6324.5時間です。5月の援農の作業内容は、収穫(スナックエンドウ、大根、カブ、ほうれん草、ブロッコリー、小松菜、エシャロット、トマト、きゅうり)、定植(ナス、トマト、キュウリ、かぼちゃ、キャベツ、しそ、モロヘイヤ、ねぎ)、里芋毛羽取り、人参間引き、種まき(トウモロコシ、キャベツ)、梅もぎ(大豊作でした)、野菜販売、お花の収穫とブーケ作り、田植などでした。



理事会・分科会だより

第6回理事会開催 6月8日(土)17:30~19:30
(台町市民センターにて。理事10名・監事1名出席)

- ・『遊休農地活用』『地産地消活動』については、一部イベント実施のみで具体的な活動目標がないため、今後理事会で協議する。
- ・事務局業務を理事や分科会で分担することとし、分担業務・担当者・人件費を明確にした。
- ・援農作業依頼のシステムが稼働を始めたことの報告
- ・映画上映会(6/29、7/3)、料理教室(7/6)の誘引状況・役割分担・詳細について

イベント情報

●映画「モンサントの不自然な食べもの」上映会

6/29(土)14時~16時 生涯学習センター川口分館(やまゆり館)にて。

7/3(水)開場18時半、上映19時~20時45分

クリエイイトホール5階大ホールにて。

入場料:大人1000円/人、大学生以下500円

主催:すずしろ22

●旬菜会料理教室 7/6(土)10時半~13時半 台町市民センターにて

地場の野菜を使った料理教室。参加費800円(材料費)

主催:すずしろ22

★映画上映会も料理教室もまだ空きがありますので、お申込みください。会員外の方も誘ってください。

新しく入会された方々

木下知子さん(平岡町)、木村光則さん(川口町)

お知らせとお願い

●IT&広報分科会より

ホームページから、援農依頼内容と、募集残り人数が見られるようになりました。このシステムにより、援農の募集・応募がより効率化しました。会員のみみなさまには、パスワードをお教えます。パソコン利用をためらっておられる会員のみみなさまも、ちょくちょくすずしろ22のホームページをのぞいてみてください。データは毎日更新しています。

●遊休農地分科会より

すずしろ22の三つの活動の一つに『遊休農地の活用』があります。市民の力で農地保全を図るために、対象と思われる農地を『市民農園』化することを目指しています。皆様からの情報を頂きたくお願い致します。

ちょっと耳にした情報・アドバイス

「ナスの作り方」

谷野町 宮城博保(聞き取り 佐藤瑞恵)

1. 苗と植付け・収穫の時期

苗には、自根苗と接木苗がある。自根苗は皮が柔らかいが、根の張りが弱く、収穫期が短い。一方、接木苗は、強い根になり、病気にも強いので、茄子作りに不慣れな人には、接木苗がむく。植え付けは、4月下旬から5月上旬。トンネルをかければ遅霜にやられにくい。収穫は6月5日頃から8月いっぱい位まで。消毒をすれば、初冬までできる。自根苗でも定植を後ろにずらせば、秋茄子が楽しめる。



2. 肥料と栽培方法

元肥は、配合肥料と堆肥(牛フン)を混ぜて、カルシウムか石灰を入れる。追肥は2回くらい与える。腐葉土は、今は政府の指導で与えていない。トンネルをすると、2週間位早く収穫でき、大きな茄子ができる。芽かきや枝切りをして風通しをよくする。

3. 病気と害虫

チャノホコリダニ・カンザウハダニ・アザミウマは8月の乾燥で出る。ハイイロカビ・ススカビは梅雨時に出る。オオタバコガやウドンコ病もある。病気や害虫が付いた時は農薬を散布する(収穫前日まで)。